

令和5年度
これまでの地域づくりビジョンの取組

1. 問寒別地区・地域づくりビジョン (R4~R5.3)

(1) 地域づくりビジョンの目的、あゆみ

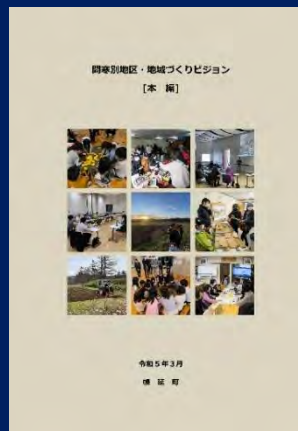
目的:いつまでも暮らしやすい地域をつくるため、問寒別地区の未来の姿や、地域づくりに必要な取り組みなどをまとめた道しるべ(令和5年3月完成)

(2) 地域づくりビジョンの内容

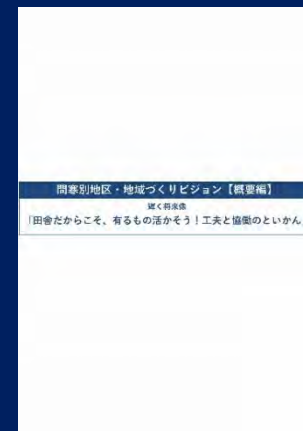
～ 地域の将来像(スローガン) ～

田舎だからこそ、有るもの活かそう！工夫と協働のといかん

問寒別地区・地域づくりビジョン



本編(出張所配置)



概要編(各戸配布)

解決したい6つの地域課題(目標)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 幸せに生き続けられること | 4 新たな地域運営 |
| 2 若者の移住定住の促進と住宅供給 | 5 みんなの居場所(複合拠点)づくり |
| 3 持続的な産業 | 6 生活利便性の維持 |



ビジョン基本計画(ビジョンを実現するための7つの重点項目)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 1 ごちゃまぜプロジェクト(たまり場、活躍の場) | 5 ずっと続く産業プロジェクト(といかん共同果樹園) |
| 2 多様な住まいと住み続けプロジェクト(集合住宅) | 6 小さな多機能複合拠点プロジェクト(空き家等活用) |
| 3 子どもは地域で育むプロジェクト(ワラベンチャー) | 7 “当たり前”に新たな価値を吹き込むプロジェクト(といかん・みんなの市) |
| 4 自分ごと地域運営プロジェクト(新しい地域のかたち) | |

地域づくりビジョン：これからのまちづくりの姿イメージ

新しい地域、
まちづくりの姿

【地域】

- ・町内会活動
- ・行事、地域活動
- ・環境整備
- ・団体活動
- ・助け合い支え合い
- ・その他…

地域で担えな
くなった部分

集落支援センター

- 仕組み
- 人(担い手)

【地域運営組織】

- ・地域活動支援
- ・役場で無くてもできる作業
- ・環境整備、団体活動支援
- ・たまり場と作業ごじゃまぜ化
- ・生きがい、やりがいづくり
- ・専門従業員雇用
- ・その他…

新しい仕組みの
まちづくり

役場も昔のようには
できなくなった部分

【役場】

- ・行政事務
- ・地域活動
- ・総務的事務
- ・役場で無くてもできる
作業
- ・その他…

地域外からも
新たな担い手

2. 問寒別地区 まちづくりアンケート (R5.5)

(1) アンケートの目的

「地域づくりビジョン」に沿って、これからの問寒別地区のまちづくりを進めるうえで取り組むべき目標や方向性を考えるため、高校生以上を対象に実施

○アンケート実施状況

- ・配布時期: 令和5年5月上旬(郵送等)
- ・回答期限: 令和5年5月19日
- ・回答方法: 返信用封筒投函、出張所等持参、インターネット(スマホ)

○アンケート内容

- ①属性: 年齢、お住まい、職業、世帯構成、運転免許など
- ②まちづくりで取り組みたい7つの施策についての5段階評価
- ③まちづくりへのご参加についてのお気持ちなど
- ④お住いの状況など

アンケート表紙

問寒別地区まちづくり
アンケート調査
ご協力をお願い

令和4年度に、問寒別地区の未来の姿として「地域づくりビジョン」をつりました。
(内容は、「問寒別地区・地域づくりビジョン 概要編」をご覧ください)
これからの問寒別地区のまちづくりにおける取組や方向性などを考えるため、地域の皆さまのご意見をお聞かせください。

【ご記入にあたって】

1. 本資料は次のとおりです。
①アンケート調査ご協力のお願い(この用紙)
②【別紙】問寒別地区まちづくりアンケート調査票(ご提出いただく用紙)
③記入例(②の記入例)
④別紙「問寒別地区・地域づくりビジョン 概要編」
2. ご回答は、高校生以上のすべての方に記入いただけます。
(世帯で1枚ではなく、できるだけ多くの皆さまにご参加いただくアンケートです)
過半数、一時的滞在者も、多くの皆さまのご意見を参照させていただきます。
3. ご回答は、**毎月19日(金)まで**に、次の方法をお願いします。
①調査票を手書きでご回答(番号を組む、または空白に凍(封入)
・宛先の自治体用封筒に調査票を入れ、郵便でご提出(封手不要)
・郵便物出渡前、または、郵務局店舗お申し込み専用ポストへご提出。
・投函会社名を記入してください。
②スマートフォンやパソコンからご回答(調査票の準備を同等不要)
・スマートフォン等で次のQRコードを読み込んでご回答。
・回答票を調査票とスマートフォンとのどちらかの方法でご回答ください。
4. この調査票についてのお問い合わせ、記入のお手伝いが必要な方は、下記までご連絡ください。

〒01632-5-2971
電話 01632-5-1114
FAX 01632-5-2277(音多・津渡)

アンケート
QRコード

※アンケートは別紙です。

(2) アンケート結果概要

○回答数(5月26日現在)

- ・調査票提出: 72人
- ・インターネット: 13人
- ・計85人

○お住まい

- ・問寒別地区在住: 76人(対象住民252人・30.2%)
- ・その他: 9人(通勤、一時的滞在者)

3. 第1回審議会：地域づくり講演会（R5.6）

自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために
～協働から総働・小規模多機能自治へ～



講師

川北 秀人 氏
(かわきた ひでと)

とき

令和5年6月1日(木)
18:45～

ところ

問寒別生涯学習センター
多目的ホール

人口減・85歳以上増への備えは、
時間の使い方を変えるしかない

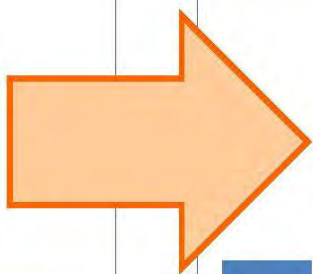
- ・「団体ごとに行事」ではなく「地域のための機能・役割」への見直し
- ・行事の棚卸し：ますます「行事」から「事業」へ
- ・会議の棚卸し：現場で動く時間を！
- ・組織の棚卸し：会の数だけ役がある！

川北氏から地域へのご提案

多様な団体の併存から、総力を結集した経営組織へ

おおむね(小)学校区域で
多様な団体が併存
(1世帯1票制)

総力を結集し、課題を自ら解決
する住民自治のプラットフォーム
(1人1票制)



地縁型組織

(自治会・町内会)

社会福祉、
交通安全
などの支部

祭保存会

子ども

PTA

老人クラブ

目的型組織

自主防災組織

子どもスポーツ

消防団

スポーツサークル

女性グループ

営農組織

文化サークル

加工・販売組織

属性型組織

総会

会長・
副会長・
理事会

事務局

(監事)
監査機関

安全部会

健康部会

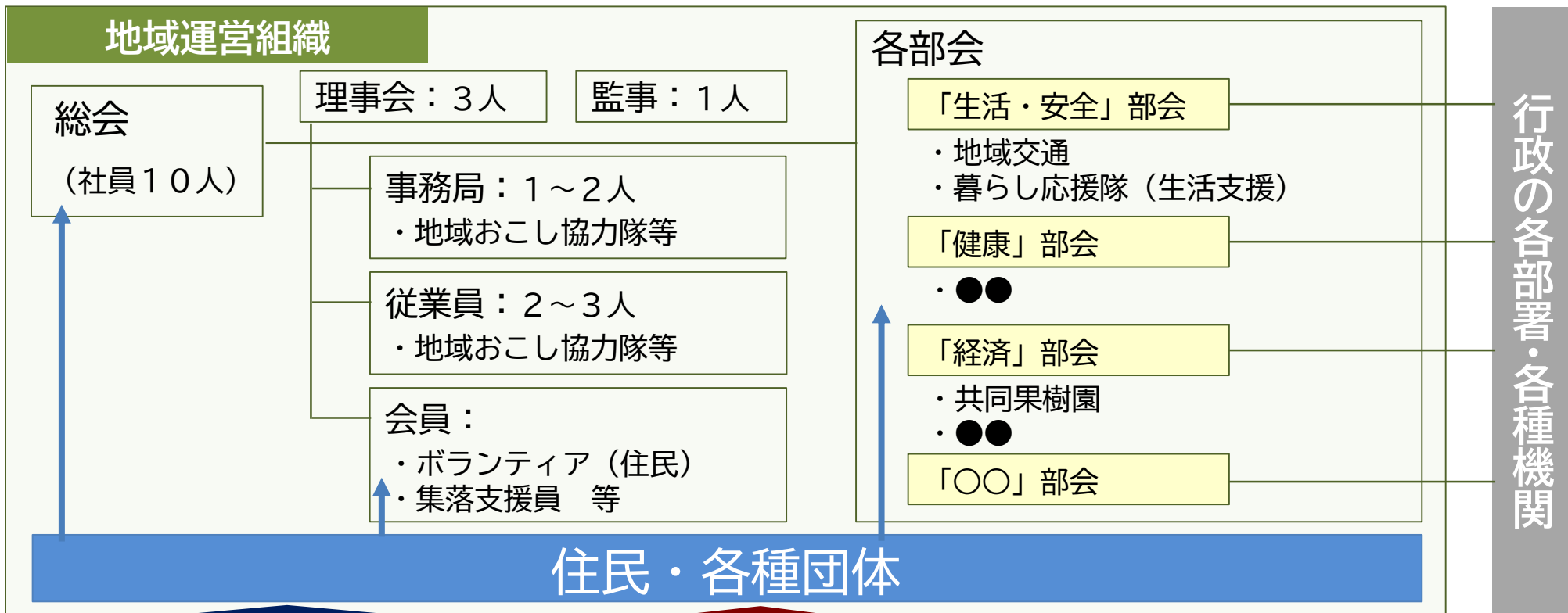
経済部会

〇〇部会

行政の各部署・各種機関

住民・各種団体

問寒別地区の新しい地域のかたち:地域運営組織(集落支援センター)のイメージ



団体・事業者等連携

事業者連携

それぞれ活動する組織・団体をサポート
(部会に参加しても、独立していても可)

連合町内会・町内会、衛生食改、老人クラブ
 自主防災、消防団 日赤、美人会
 盆踊り保存会、神社 おひさま子育て会
 PTA、ワラベンチャー **各種サークル**

事業者との
役割分担、
継続支援

《組織づくりに向けて》

行事・会議・組織の棚卸し

⇒役割・機能をまとめる

- ・「行事」型から「事業・経営」型へ
- ・公共的機能の集約化
- ・既存の組織、団体に希望があれば、部会へ再編
- ・行政: 事業と組織の経営支援、情報提供、基盤整備
- ・それぞれの地域行事、団体等応援連携

4. 住民懇談会・といかん本音トーク (R5.4~)



といかん
本音トーク通信

2023年
6月21日
昼号
発行：幌延町

- といかん市は：次回は夏野菜の時期が良いのではないかと。
- 地域づくり講演会を聞いて：なんとかなないと大変なことになる。仕事、行事の棚おろし、若い世代の集め方の工夫と、世代別に考える場をつくる。地域や仕事の棚卸しは、活動の似た組織をまとめるなど。何のための活動家再確認する。
- ブルーベリー果樹園は：作業拠点があるといいね。



といかん市

- ・交通、予約口、帰り1名(小学生) → 天気にもよる(利用者)
- ・場所的に町民会館ははずれにあるか？(目立ちにくい?)
- ↳スペース的には十分であった。→仕切りが可動式になっている
- ・お客さん少し少なかった → 中頓別からの客あり 新聞みて 場所迷った
- ・野菜のイメージがつかめなかった(季節的問題か)
- ・アスパラ、ニラ、シイタケ完売
- 山菜ウド、ワラビ、タケノコ
- スーパーがなくなると野菜の仕入れが困難
- ☆く上美生 > 長時間の時は託児スペースを置く 手芸品と新鮮な野菜、すごい木工
- ・地元で野菜置ける場所
- ・玄関での焼き物は子どもたちやPRによかった
- ・次回は？トマト、キュウリなどの夏野菜の時期が良い → 盆踊りの時？8月か？

トマト、
キュウリ
ななばん、
ピーマン等

地域づくり講演会

- ・自治とは自分たちで担う
- ・高齢化 → インフラの高齢化、人口の高齢化 → 地域が大変 → 今から考える
- 6.5歳 → 7.4歳元気高齢者
- 全体
- ・子供 2040年100人のうち6人(減)
- 元気高齢者 → 半分に(減)
- 後期高齢者 → 23人に(増)

どうしたら
いいの？

大変になる！
何とかしないと

かさねると
まびく

といかんでは？

全国より
20年早い

行事などの見直必要

仕事、行事の棚卸
盆踊り等大事なことは残す

選択する

健康づくり、福祉一体で

地域一丸となっ
て取り組む？

といかん 半分以上に

時期と
場所を

これからどうする？

どうするか

年代・世代別に考える

連合町内会

- 町会
- 町会
- 町会

要救助者サポート

自主防災

防災、災害時対応

盆踊保存会

PTA

リサイクル

フラベンチャー

イベント的

モービル 陶芸 そば

各種サークル 手芸

PG

ミニパレー チーズ

月1カラオケ

消防団

訓練4回
研修3回

食改

イベント的

老人クラブ

活動減少

20数名か

不定期

日赤

毎月

美人会

子育て会

日常的

若い世代の
集め方

ex. 農協青年部

- ・搾乳時間をはずす 時間設定など
- ・農繁期をはずす 農協さんと相談

市街地の若い世代の集め方

- ・学校の先生
- ・研究林の職員
- ・めもっとく

☆ブルーベリー~

- ・75株・苗植え
- ・7月1日・水やり

話し合い

作業拠点がある
といいね

チラシ
学校
地域へ配布

☆地域や仕事の棚卸

見える化

似た物同士
まとめる

EX 草刈り、別々の団体の
作業も1個に

役員の棚卸

☆新しい人が入ってこない
☆役員の担い手(やりたくない)

重ねる、間引く！

楽しみはず
失わずに

何のための活動
かと再確認

次回の本音トーク
7月10日の週
10, 11, 12が

こじんまりと

- といかん市は：町民会館は使いやすいが、玄関に段差あり。外開催や生涯学習センターもある。
- 地域づくり講演会を聞いて：大事にしてきたことを守りながら、組織や活動、方法の見直しを。体験や滞在所づくり、地域が一丸となる新たな組織づくりをする。
- ブルーベリー果樹園は：長く続けるために、子供の参加を。冬がこい、主体、管理、そしてどう使うかを考えていこう。

といかん市（町民会館）

- ・気軽に集まり、楽しめた
- ・楽しめた（自転車で）・顔見知りでワキアアイ ・シカのクラフト良かった。手作りしたい
- ・白菜（山東菜）、シイタケ、ティッシュカバー・山菜もあってよかった ・食べ物があると楽しめる ・会場はもっと広く使ってもよかった
- ・フリマスペースあってもよいか？ PRの場としても活用 ・開催の周知（当日も） ・休憩できる場づくりあってもよい→あったけど案内不足か

広くて使いやすい 備品もあって便利 駐車場も広い アクセスしやすい？

最近あまり使う機会ない？ 玄関周りは段差あってひどいぞ

外を使っても良いかも

メンバーの固定化どう？ 夏の開催 フリマの実施など 地域関係者の固定化

夏、秋の次回開催

8月下旬 or 9/2 か9月上旬 or 9/2

子どもたち楽しんでた 楽しませる場づくり

やってるよ、のお知らせが必要

お手伝いしたいが体が…

1%戦略 1人増は重要

お話の場にしてはどうか

外開催もありか

地域づくり講演会

- ・自治とは自分たちでやること 14億足りない
- ・高齢化→少家族化 インフラの高齢化（全国の10倍）
- ・85歳以上が増加するのに対応
- ・いろいろなこと見直し必要

まだまだ積極的にやらねば

色々な関わりを広げていく

大変な地域に 2040年といかんどうするのか！

昔からの取り組み、役、会議多すぎ → ☆方法の見直し

集まること 笑えること 大事

社会的弱者 全ての人を受け止められる地域

参加すること 世代交代

世代別 年代別 意見交換

学校の先生 演習林職員

若者の集め方工夫

二地域 居体の希望あり

体験、滞在所づくり

若者の社会増の取り組み

地域活動の維持が難しくなる

地域一丸となる新たな組織づくり

同じテンションで

大事なしてきたことを守りながら組織や活動の見直し必要！

棚卸

次回意見交換

行事や会議、取り組みの見直し 今のうちに考える

どう使うか考えよう

冬囲い 主体は 管理は

作業場、活動拠点などについても意見交換できたら

一名称付けとか

長く続けるために子どもの参加

ブルーベリー果樹園

- ・7月1日 10:00~
- ・簡単な畑作業
- ・子供たちにも参加の呼びかけ
- ・75株（3年目の苗木）

どう使うか考えよう

冬囲い 主体は 管理は

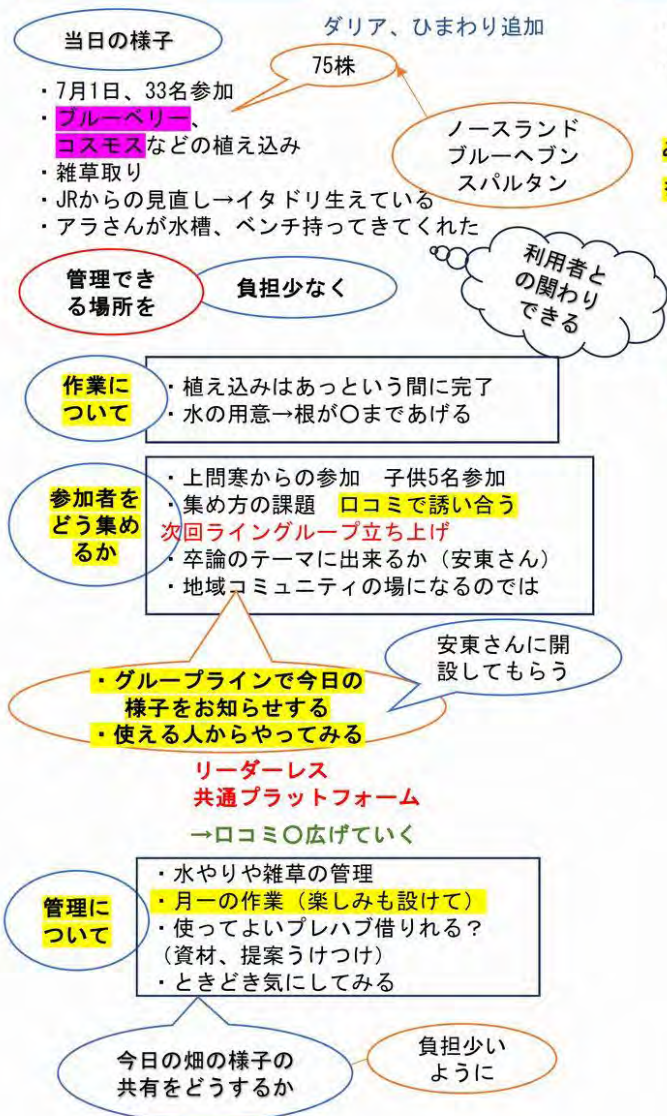
作業場、活動拠点などについても意見交換できたら

一名称付けとか

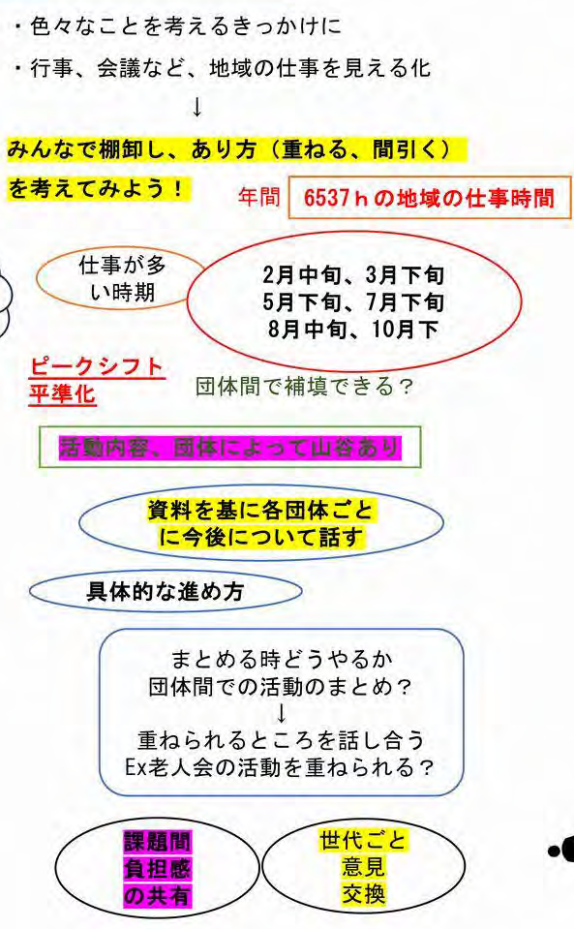
長く続けるために子どもの参加

今回は7月10日、11日、12日

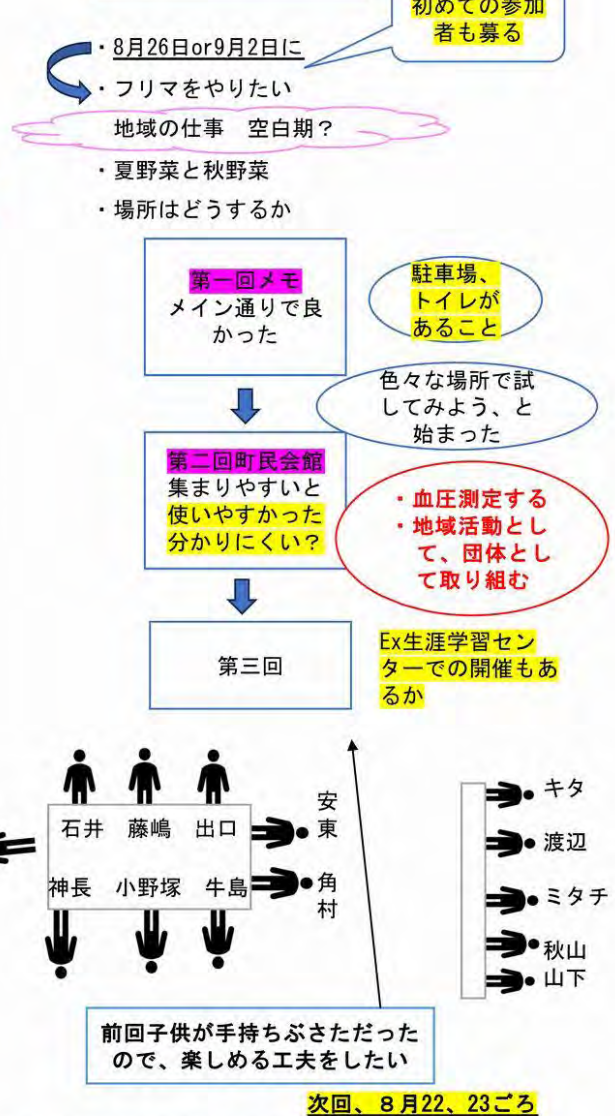
といかん果樹園

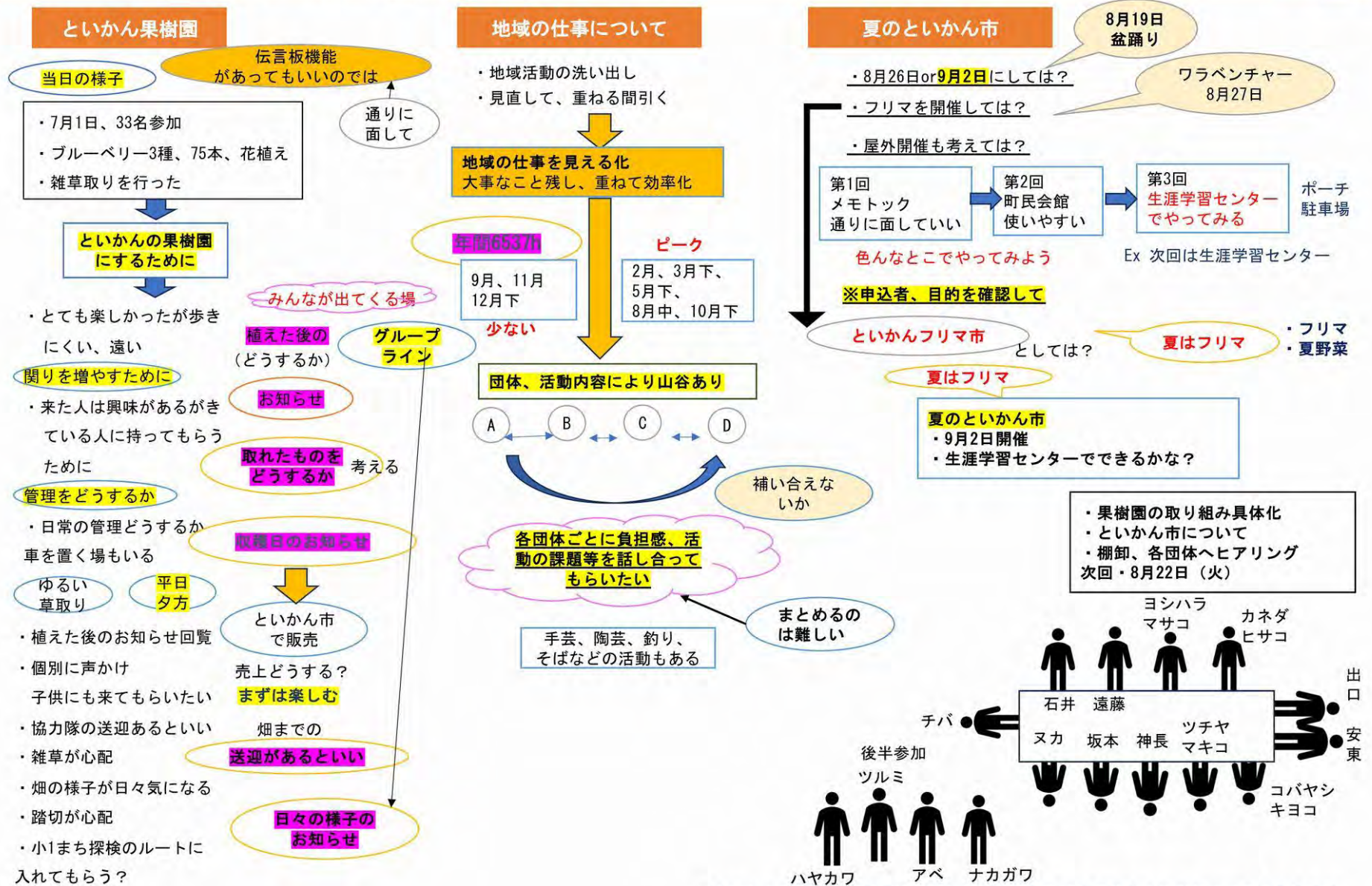


地域の仕事棚卸し



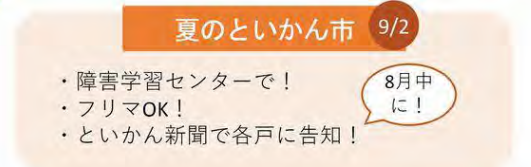
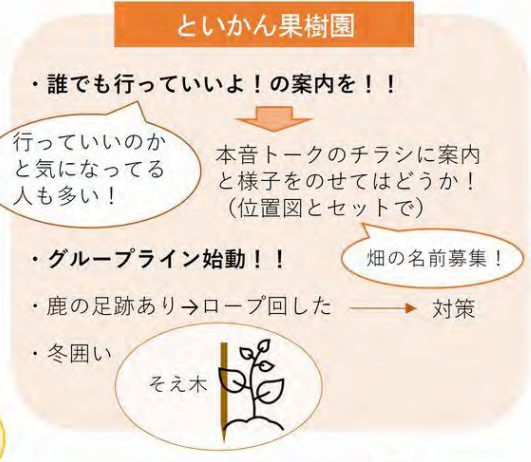
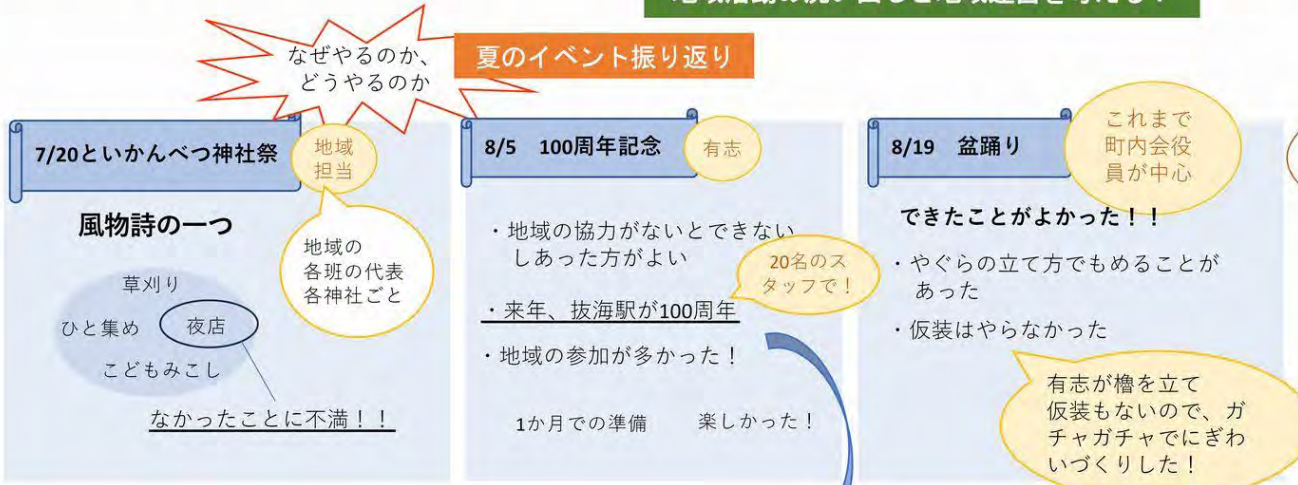
夏のといかん市





※といかん本音トーク通信は、話し合いの結果を地域の皆さんにお知らせする通信です。

地域活動の洗い出しと地域運営を考える！



誰のために？

子どもたちのために
お年寄りのために

* 子どもたちはとても楽しんだ！（小10人、中3人、幼8人）

* お年寄りも出てくる機会になった

何のために？

楽しく
子どもたちのために

地域の協力がなくとできない

準備が大変だけどやった方がいい！

やり方を試してみる

どうやって準備したら負担少なくてできるか

・人材、担当の若返り？

・考える、動かすを別の力で？

・2~3年かけて引き継いでいく

・リーダーシップと得意分野を生かす役割分担

どうやって？

ハイブリット参加の工夫

ハイブリット型実施体制

何でも担当、イベントごとに仕事や分担を完結するのではなく、いろんな得意チームで協力しながらやってはどうか

地域の若手の参加があった！

外の人巻き込み方

役員でなくてもかかわれる方法

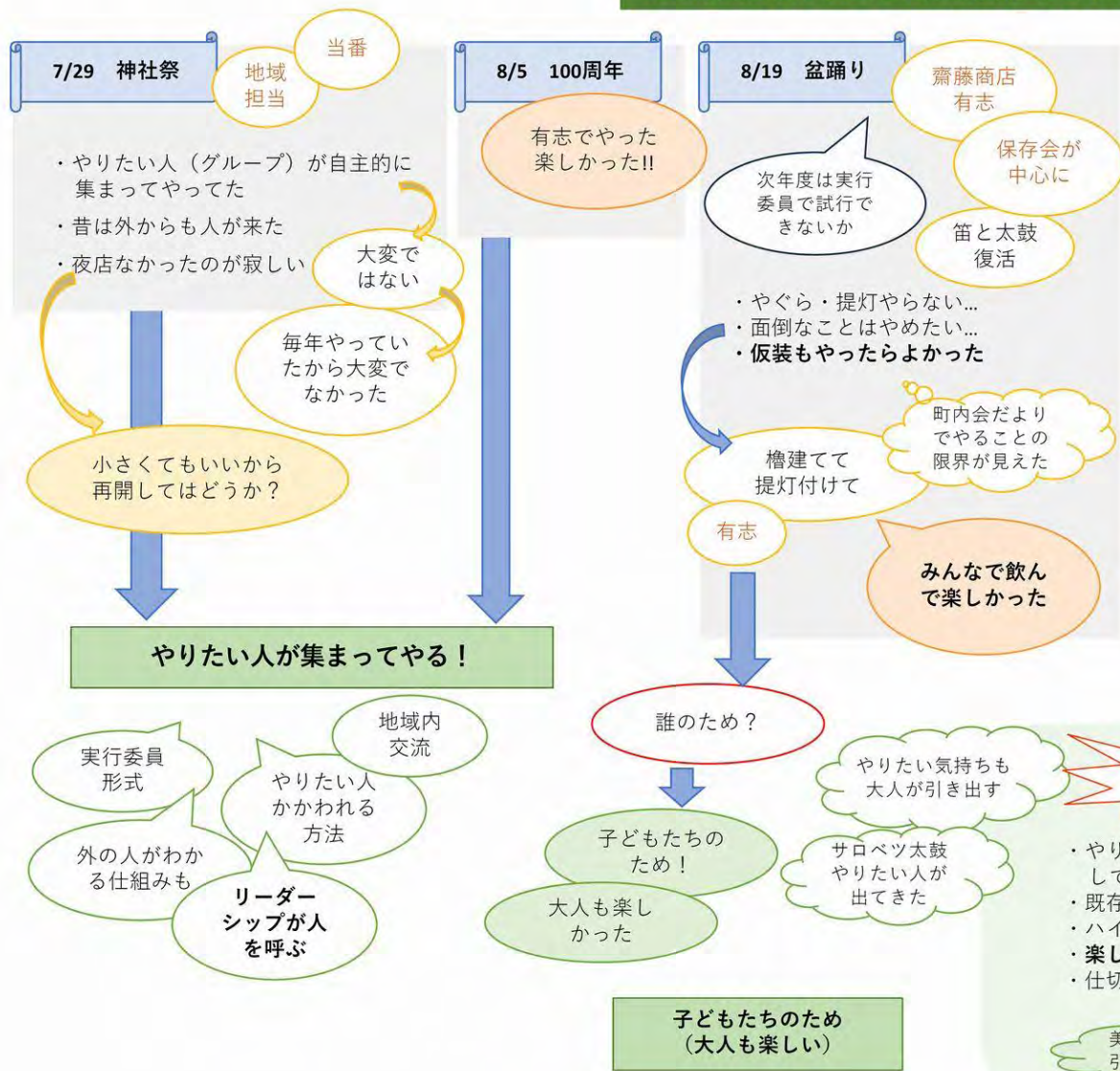
やりたい人が参加できる

せっかくやるなら楽しく！！
子どもたちのために！！

負担少なくやるために前向きな振り返りを！！

- といかん果樹園：現地の様子をお知らせしたいね。冬囲いの作業もみんなでやろう。名前募集！
- 夏のイベント振り返り：神社祭はやりたい人が集まってやる。100周年は有志でやって楽しかった。盆踊りは大人も子どもも楽しかったよ。
- 地域活動の洗い出しと地域運営：やりたい人が得意なことを活かす、手伝って！手伝うよ！の声かけが大事。美人会などのノウハウ引き継ぎ、ボランティアだけでない手伝いは考えられないか。P

地域活動の洗い出しと地域運営を考える！

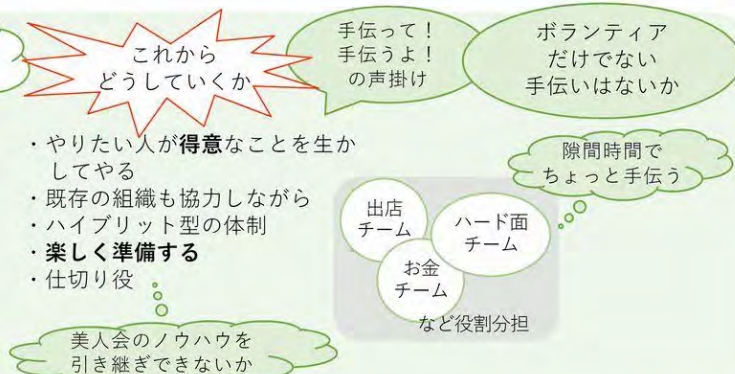


夏のといかん市

- ・9月2日（土）
 - ・生涯学習センターで！
 - ・チラシ作成→8月中に配布
 - ・今回はフリマ開催！
 - ・9：00開始
- 野菜・陶芸、キッチンカー
- フリマメインならもっと大
- きなPR!
- 口コミで出店者を！
- 本、服、おもちゃ 出店募集中！
- 野菜もありで！

といかん果樹園

- どう管理するか？
- グループライン作成 始動!!
- たまたまいった人や通りがかった人が写真を撮って投稿
- ・シカが入った跡あり
 - ・葉が赤い→紅葉？
 - ・既に草刈りしてあった
 - ・草とりしてきたよ！
 - ・かかわってもいいの？
- 名前を付けたいね
- 今後冬囲いなどの作業も
- 現地の様子知らせてください
- お知らせで案内しよう！



5. 「といかん共同果樹園」プロジェクト

○プロジェクト

「地域づくりビジョン」の地域目標に向かって取り組む各種施策を実験的に実施して、新しい地域づくりの形を考える

概要

地域住民の参画・協業により果樹園経営を行う

目指すもの

- ・ 農業引退後などに市街地で生活しつつ毎日を楽しめる生きがいづくり
- ・ 農業者間や、他産業との連携、さらには地域住民との連携を強めていくためのきっかけ作り
- ・ 観光資源の一つになる

コンセプト

- ・ 楽しくやる！
- ・ 地域の資源（ひと、かね、機材、環境等）を結集する！



7/1 コスモス種まき・ブルーベリー植樹体験会

幅広い層の地域住民33名参加（うち地区住民29名）

①ブルーベリー植樹

- ・ 植え方については三田地さんから参加者にレクチャー
- ・ 15分程度で植え終わり、雑草取り作業に移行

②コスモス種まき ほか

- ・ 鉄道から見えやすい位置にコスモスを植える予定
→地域の方による持ち込みで、ダリア及びヒマワリが追加された。
- ・ 体験会開始から参加できた子どもたちについては、一通りの作業に参加できた。



といかん共同果樹園のLINEグループができました！



- ・ブルーベリーなどの様子を画像で共有
- ・作業のタイミングが調整しやすい
- ・見るだけの参加ももちろん歓迎

6. 「といかん・みんなの市」プロジェクト

概要

問寒別地区内の住民やサークルにより作られた手芸・工芸品、地元で採れる山菜や野菜などを共同で売ることのできる場所を設置する。当面は試験的に不定期開催で、いろいろな場所
で実験する

目指すもの

- ・「ごちゃまぜ」の共同作業の場づくり
- ・活動の発表の場、お互いの活動を評価しあう場づくり

コンセプト

- ・ものすごく簡単にやる！楽しくやる！
- ・リーダーは置かない
- ・あくまで自主的に参加者各自の創意工夫を尊重
- ・極力お金を掛けない

【令和5年6月3日（土）：第2回開催】

○場所：町民会館

○出店（展）

手芸サークル、陶芸サークル、木工品、メモ
トック商品、山菜（タケノコ、ウドほか）、野
菜（アスパラ、チンゲン菜、山東菜ほか）、野
菜苗、秘境牛試食会、雑貨、焼きマシュマロ

○その他：地域交通臨時便



令和5年6月3日(土)「といかん・みんなの市」開催風景



【令和5年9月2日（土）：第3回開催】

○場所：問寒別生涯学習センター

○テーマ：いろんな人が出やすいフリマ！

○出店（展）

美人会、手芸サークル、陶芸サークル、ま工房（木工品）、メモトック、だ野菜店（枝豆、たまねぎ）、みどり農園（ぶどう、いも、トマト、シシトウ、インゲン、ピーマン、かぼちゃ）、ま店（ぬいぐるみ、洋服、バック）、よ店（浴衣、服）、ぬ店（縁日：スマートボールすくい、くじ引き）、や店（自転車屋）

○フリマで出たモノ、コト

家電、服、靴、ぬいぐるみ、バック、食器、健康器具、松葉づえ、ペット用品、小物入れ、鍋、漬物樽、クーラーボックス、自転車、カブレントル

○その他：地域交通臨時便





7. その他の地域活動（支援）

○問寒別駅開業100周年を祝う会・駅前地域交流会(8/5)

- ・開業100年の100日前の週末に100人集めて地域イベントを開催！！
- ・コロナ禍で途絶えていた地域交流の復活、子供たちの夏の思い出づくり、関係人口創出を目的に地域団体を立ち上げて新しいイベントスタイルを検証



○問寒別地区盆踊り(8/19)

- ・地域での伝統イベントの復活に、地域の皆さまと賑やかしのお店を出店し、新しい支援の仕組みを検証



令和5年度
今後のスケジュール

1. 令和5年度 地域活動の計画（予定）

今後の地域での取り組み

「地域づくりビジョン」の7つの施策のうち、住民アンケートなどから優先順位などを見定めつつ、できることから少しずつまちづくりの取り組みを進めます。

①重要度	区分	分類	②取組やすさ
4.3	3-1.地域独自の子育て活動持続	子育て	3.5
4.2	4-2.生活支援	地域	3.1
	5-1.雇用確保や研修生募集・受入れ	産業	2.9
4.1	4-3.町内会活動や各種行事の支援	地域	3.0
	7-2.地域の良さの再発見(といかん市)	価値	3.5
4.0	4-5.地域情報の収集と発信	地域	3.1
	5-2.人材融通と仕事サービス共同化	産業	2.8
	6-1.小さな多機能拠点づくり	拠点	2.7

②取組やすさ	区分	分類
3.5	3-1.地域独自の子育て活動持続	子育て
	7-2.地域の良さの再発見(といかん市)	価値
3.3	3-2.地域みんながPTA	子育て
3.1	1-1.たまり場づくり	ごちゃまぜ
	4-2.生活支援	地域
	4-5.地域情報の収集と発信	地域
	5-4.「といかん共同果樹園」設立運営	産業
3.0	4-3.町内会活動や各種行事の支援	地域
	7-1.関係人口による良さ発見発信	価値

①「といかん・みんなの市」プロジェクト

・「ごちゃまぜ」の共同作業場、持ち寄り販売、活動発表の場、フリーマーケット（秋予定）

②「といかん共同果樹園」プロジェクト

・いろいろな関わり方、新たな働き方、にぎわい、生きがいづくりの新たな産業、協業のブルーベリー果樹園
 ・できた果樹を「といかん・みんなの市」で販売

③「ごちゃまぜネットワーク拠点」プロジェクト

・①の実施場所、②の拠点として、地域みんなが気軽に土足で集まれる秘密基地のような地域の拠点づくり

④「といかんハウス」プロジェクト

・老若男女みんなが見守り支え合い、わいわい暮らせる、個室と共同スペースのある共同住宅（シェアハウス）

⑤地域の未来の絵

・みんなで問寒別地区の未来の姿を表す1枚の絵を考えてみよう

みんなで
やってみよう！

みんなで
考えてみよう！

2. 具体のスケジュール（予定）

○住民懇談会・といかん本音トーク：ほぼ毎月開催

- ・地域づくりビジョンのプロジェクト（といかん市、共同果樹園、住まいなど）をみんなで考えて実践します。
- ・地域活動を洗い出しながら、どのように地域を運営していくのか考えます。

○地域運営組織道外視察（11月12日～15日）

- ・島根県雲南市の地域運営組織を複数箇所視察します。
- ・地域運営組織は、人口減少などでこれまでの町内会、団体等の体力が低下し、地域の絆も希薄化しつつある地域にあって、安心安全な暮らしができるよう、地域と行政が協働して、地域活動を行っていく新しい地域の仕組み・かたちです。

○第3回審議会：地域づくりシンポジウム（12月）

- ・道内各地域での地域運営の取組をご紹介いただき、地域みんなで地域づくりを考えます。

○第4回審議会：地域づくりビジョン評価手法素案（3月）

- ・地域づくりビジョンの取組の評価、地域団体活動の評価などをはかる、ロジックモデルづくりを目指します。

○各種地域団体活動、日常生活の支援

- ・地域おこし協力隊や役場も、地域団体活動などに参加して、新しい地域のかたち「地域運営組織」の立ち上げを目指します。